

## みんなで地域づくり事業企画書

団体名	Y(よつかいどう)・Y(よしおか)・NOWSON(いまだきの農村)
事業名	Y・Y・NOWSON(わいわいのうそん)
目的・必要性	<p>1. 四街道の現状</p> <p>① 四街道は団地と古くからの地域が混在する希有な環境です。</p> <p>② 農業従事者の高齢化等で耕作放棄地が増えています。</p> <p>③ 生活環境の変化で、古村の伝統文化行事が消えつつあります。</p> <p>2. 事業の目的</p> <p>① 街にしながら田舎の生活を体験する事が出来る場を創造します。</p> <p>② 休耕地の解消を含む里山保全の意識の向上を図ります。</p> <p>③ 農村の生活と民俗の体験出来る場を提供します。</p> <p>3. 事業の必要性</p> <p>26・27年度のコラボ四街道補助金で整備した竈や集会場の積極的活用をするために様々な事業を展開してきましたが、今年度は更に将来を見据えた休耕地の活用や、市民が農家生活体験をする場を多く設け、ワイワイと賑わいのある魅力的な農村となる事で四街道のシティセールスに繋げる必要があります。</p> <p>伝統文化継承のイベント、文化的講演会、里山保全等の講座を設け幅広い対象者に呼びかけ田舎生活の楽しさ、魅力を知って貰い、里山保全の意識向上に繋げる必要があります。谷津田や山の景観を取り戻すことにより更に多くの人を訪れることを狙います。</p> <p>特に27年度中に出来上がる東京情報大学ケビン・ショート先生編集の『吉岡里山歩き(仮題)』の配布、活用により吉岡地区に興味を持つ千葉市側からも多くの人々の流入を見込みます。東京情報大学との更なる連携で知名度のアップを狙います。</p>
内容	<p>1. 農業体験</p> <p>① 「肥料・農薬を使わず、虫を敵とせず」環境に優しく、昔からの農法にこだわる自然農法を広めるために、四街道自然農塾を中心に稲作・畑作手法の実際を見学し、かまどで調理したものを一緒に味わって頂きます。休遊農地を使った新しい農民参加を促します。</p> <p>② 子育て世代、子ども団体等にも積極的に声かけをしてジャガイモやサツマイモ掘り、季節ごとの果実の収穫、ザリガニ釣りなど楽しみながら、畑や田んぼに親しみをもって貰います。</p> <p>2. 農家生活体験</p> <p>① イベント型生活体験として、吉岡の豊かな自然を活かしY・Y・NOWSONの敷地内に自生する野草や、畑の野菜、植樹してある果実の料理や加工の講座を、よつグルメ研究会の協力を得て開催普及します。又、将来に向けて敷地内に新しい果樹の植え付けを実施します。</p> <p>② 地元のお米や粉で、もちつきや蕎麦打ち、地元の野菜等を使った料理等を広く参加者を募り、共に楽しみY・Y・NOWSONの知名度を高めます。同時に「ばらっぱまんじゅう」に代表される地域の伝統行事や料理の伝承に努め地域活性化に繋がります。</p> <p>④ 田舎生活をいかした、「災害時生き残り術」を消防署・自衛隊・ボーイスカウト等に依頼して親子体験教室を開催します。</p>

	<p>ライフラインが途絶えた時を想定して、井戸から水を汲み、山から薪を拾い、かまどで食事作り、テントまたは集会所に宿泊し、災害時の体験をして貰います。</p> <p>3. 里山保全の取り組み 環境保全、里山学会で著名な東京情報大学教授原先生のご協力をいただき、Y・Y・NOWSONまたは東京情報大学を会場として年間を通して「里山講座」を開きます。講師には情報大学の先生をはじめとして、里山有効活用の実績を持つ実業家等予定しています。人気のケビン・ショート先生の里山ウオーキングも講座に組み込まれます。里山をより良く知って、保全に繋がる活動に取り組みます。</p> <p>4. 一村のアトリエ 日本画家・田中一村ゆかりの家として10年以上継続してきた事業で知名度も高く、ここから文化・芸術の発信を継続的に行うことにより、シティセールスに繋がります。</p>		
スケジュール	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="459 801 624 846">時期</th> <th data-bbox="624 801 1378 846">具体的な取組</th> </tr> </table>	時期	具体的な取組
	時期	具体的な取組	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 846 624 902">通年</td> <td data-bbox="624 846 1378 902">農作業・農家体験受講生の募集と実践 (ばらっぱ饅頭等)</td> </tr> </table>	通年	農作業・農家体験受講生の募集と実践 (ばらっぱ饅頭等)
	通年	農作業・農家体験受講生の募集と実践 (ばらっぱ饅頭等)	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 902 624 958">4月</td> <td data-bbox="624 902 1378 958">一村のアトリエ春の講演会</td> </tr> </table>	4月	一村のアトリエ春の講演会
	4月	一村のアトリエ春の講演会	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 958 624 1014">5月</td> <td data-bbox="624 958 1378 1014">東京情報大学里山講座 1</td> </tr> </table>	5月	東京情報大学里山講座 1
	5月	東京情報大学里山講座 1	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1014 624 1070">7月</td> <td data-bbox="624 1014 1378 1070">東京情報大学里山講座 2</td> </tr> </table>	7月	東京情報大学里山講座 2
	7月	東京情報大学里山講座 2	
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1070 624 1126">9月</td> <td data-bbox="624 1070 1378 1126">災害時親子体験教室</td> </tr> </table>	9月	災害時親子体験教室	
9月	災害時親子体験教室		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1126 624 1182">10月</td> <td data-bbox="624 1126 1378 1182">一村のアトリエ秋の講演会</td> </tr> </table>	10月	一村のアトリエ秋の講演会	
10月	一村のアトリエ秋の講演会		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1182 624 1238">11月</td> <td data-bbox="624 1182 1378 1238">東京情報大学里山講座 3</td> </tr> </table>	11月	東京情報大学里山講座 3	
11月	東京情報大学里山講座 3		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1238 624 1294">12月</td> <td data-bbox="624 1238 1378 1294">もちつき、自然農収穫祭</td> </tr> </table>	12月	もちつき、自然農収穫祭	
12月	もちつき、自然農収穫祭		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="459 1294 624 1361">3月</td> <td data-bbox="624 1294 1378 1361">東京情報大学里山講座 4</td> </tr> </table>	3月	東京情報大学里山講座 4	
3月	東京情報大学里山講座 4		
役割分担の想定	<p>(団体の役割) 事業の企画、実施</p>		
	<p>(市の役割) 事業の広報、後方支援、企画への参画</p>		
他団体との連携	四街道自然農塾、一村のアトリエ、東京情報大学、よつグルメ研究会		
期待される成果	<p>整備した竈や集会場の積極的活用、更に将来を見据えた休耕地の活用や、市民が農家生活体験をする場を多く設け、ワイワイと賑わいのある魅力的な農村となる事で四街道のシティセールスに繋がります。</p> <p>伝統文化継承のイベント、文化的講演会、里山保全等の講座を設け幅広い対象者に呼びかけ田舎生活の楽しさ、魅力を知って貰い、里山保全の意識向上に繋がります。谷津田や山の景観を取り戻すことにより更に多くの人を訪れます。</p> <p>特に 27 年度中に出来上がる東京情報大学ケビンショート先生編集の『吉岡里山歩き (仮題)』の配布、活用により吉岡地区に興味を持つ千葉市側からも多くの人流入が見込まれます。情報大学との更なる連携が知名度のアップにつながります。</p>		